

GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース

2024

5

Vol.13 No.5



5月号

口絵 89 **国会議事堂に使用された岡山県新見市産大理石石材「黒柿」：
マイクロコディウム組織を持つ石灰岩**

中澤 努・上野勝美・西本昌司・乾 睦子

91 **リュウグウの岩石試料が始原的な隕石より黒いわけ
—隕石は大気と反応し「上書き保存」されて明るく変化した—**

天野香菜・中村智樹・松岡 萌・橘 省吾

95 **海洋保護区安永海山の岩場で新種のウミエラ類を発見
—北西太平洋から初報告—**

櫛田優花・喜瀬浩輝・井口 亮・藤原義弘・土田真二

101 **湘南海岸の景勝地“江の島”で学ぶ相模トラフ変動帯の
地形・地質と自然災害 —“江の島”ジオ散歩のススメ—**

七山 太・重野聖之・石井正之

118 **新刊紹介 「御料局測量課長 神足勝記日記 —林野地籍の礎を築く—**

プレートテクトニクスがつくる

なぞの温泉

しん ぶ りゆう たい

「深部流体」

2024年

4月23日^火

~9月1日

日本ではたくさんの温泉が湧き出ていますが、起源の分からない“なぞ”の水が存在します。研究の結果、プレートの沈み込みが深く関わる「深部流体」であることが明らかになりました。近年の研究から見えてきた深部流体の“なぞ”にせまります。

開催場所：地質標本館 1階ホール

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日（休日の場合は翌平日）

入場
無料

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター



GEOLOGICAL MUSEUM

地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1
TEL: 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 中島 礼
副委員長 戸崎 裕貴
委員 竹原 孝
児玉 信介
草野 有紀
宇都宮 正志
山岡 香子
森尻 理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第13巻 第5号
令和6年5月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : NAKASHIMA Rei
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 13 No. 5
May 15, 2024

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

北見神威岬に露出するイドンナップ帯北端の現地性緑色岩

[cover photo](#)



北見神威岬は、オホーツク海に突き出す岩峰の岬である。この岬を廻るルートは、開拓時から斜内山道と呼ばれ、陸路の難所として知られていた。1985年まで旧国道238号線に沿って国鉄興浜北線が通過していたが、現在でも灯台と道路の間に、廃線跡を追跡できる。枝幸山地には、白亜紀付加体とされるイドンナップ帯北端の混在岩相が広域に露出する。特に岬周辺には、未固結の堆積物中に注入した厚層の現地性緑色岩が観察され、海嶺玄武岩起源と推定されている。この緑色岩は堅牢で波食に強いいため、現在も岬をなしているであろう。（写真・文：七山 太 産総研地質情報基盤センター／ふじのくに地球環境史ミュージアム）

The *in situ* greenstones in northern edge of the Idonnappu belt exposed around Cape Kitami-Kamui, Northeastern Hokkaido, Japan.
Photo and caption by NANAYAMA Futoshi